

第 71 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 材料分科会 議事録

1. 日 時: 2014 年 4 月 23 日(水)13 時 30 分～16 時 20 分

2. 場 所: 日本機械学会 第 2 会議室

3. 出席者: 木村(NIMS)、伊藤(IHI)、齊藤(中電)、根岸(関電)、俣野(KHI)、戸田(NIMS)

欠席者: 井手(東電)、清水(MHI)、菊原(BHK)

オブザーバ: 森(新日鐵住金)

事務局: 海野

4. 配付資料

71-1-1 . 第 70 回材料分科会議事録(案)

71-1-2 . 審議履歴表

71-2 . 材料分科会委員名簿

71-3 . 第 67 回火力専門委員会議事録

71-4 . 第 22 回材料専門委員会議事録

71-5 . 第 68 回規格委員会議事録

71-6-1 . 表Ⅱ-2-2 の審議用レビュー票

71-6-2-1 . 表Ⅱ-1-3 及び表Ⅱ-2-3 の審議用レビュー票

71-6-2-2 . 火 SCPH91 等の許容応力値比較

71-6-3 . 第Ⅱ章本文の審議用レビュー票

71-7-1 . 電力安全小委員会(第4回)資料抜粋

71-7-2 . 電力安全小委員会(第5回)資料抜粋

5. 議 事

(1) 前回議事録確認

[資料 71-1-1]

前回議事録(案)について確認を行ない、出席委員全員の賛成で議事録案は承認された。

(2) 分科会委員の確認

[資料 71-2]

俣野委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、野口委員の退任が報告された。新任委員候補として、森康範氏(新日鐵住金)が推薦され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。

(3) 火力専門委員会・材料専門委員会・規格委員会他報告

(3-1) 火力専門委員会

[資料 71-3]

第 67 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第 70 回材料分科会報告
- ・ 委員会資料の取り扱い内規(案)に関する規格委員会での書面投票結果について

- ・発電用火力設備規格のエンドース審査について

(3-2) 電力安全小委員会における審議状況

[資料 71-7-1, 71-7-2]

電力安全小委員会(第4回)及び(第5回)における審議内容のうち、JSME 火力設備規格に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・火 SCMV28、火 STPA29 及び火 SUS410J3 系鋼の許容引張応力と寿命評価式の見直し提案(平成 23 年度 RHC 委員会報告内容)が審議、承認された(第4回)。その後、パブコメも実施されたが、パブコメの結果は未発表
- ・溶接安全管理検査制度の見直しに関連して、「現在、火技解釈に JSME 規格の導入を議論しており、」との説明がなされている(第5回)
- ・火 SCPH91 及び火 SCMV4J1 系鋼の許容引張応力の見直し案と寿命評価式の追加提案(平成 25 年度 RHC 委員会報告内容)が審議、承認された(第5回)
- ・火技解釈を安全率 3.5 に見直すことを前提に材料許容応力、引用 JIS、試験検査方法の見直し等について検討することとした(第5回)

(3-3) 材料専門委員会報告

[資料 71-4]

第 22 回材料専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・火 STPA24J1 系鋼と火 SCPH91 鋼の許容値等の見直し結果の技術的妥当性について、火力専門委員会から検討が依頼された
- ・新材料規格化分科会と材料規格統合化分科会の三役について
- ・発電用設備規格関連の材料事象(案)の材料専門委員会での書面投票結果について
- ・委員会資料取扱内規(案)に関する規格委員会での書面投票結果について
- ・発電用設備規格関連の材料事象(案)の規格委員会での書面投票意見対応について
- ・新材料規格化分科会と材料規格統合化分科会の活動方針について

(3-4) 規格委員会報告

[資料 71-5]

第 68 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・火力専門委員会委員の承認
- ・火力専門委員会報告
- ・規格委員会運営規約改訂に対応した専門委員会運営規約の見直しについて
- ・ホームページファイル共有機能の名称が「CS キャビネット」に決定した
- ・火力専門委員会関連の審議事項は無し

(4) 審議事項

(4-1) レビュー票審議

(4-1-1) 許容応力表Ⅱ-2-2

[資料 71-6-1]

齊藤委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・取り入れない材種について、許容応力表(改訂作業用)への記載(変更理由)を修正した。

- ・ Code Case から Sec.II に移行した材種の分類番号を追加した
- ・ 見直し材種の一覧表及び添付資料を整理した

(4-1-2) 許容応力表 II-1-3 及び表 II-2-3 [資料 71-2-1, 71-2-2]

根岸委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ Code Case Supplements No.6-11 の検証に伴う新規材種取入れアンケートの結果を確認した
- ・ 取り入れ不要材種: Code Case No. 2696, 2735, 2736, 2671, 2672, 2717
- ・ 許容応力値変更: Code Case No. 2191, 2199, 2179, 2180
- ・ 見直し材種一覧表の分類番号(1-5)を大分類4(小分類は後日確認)に修正する
- ・ 火 SCPH91 の非クリープ温度域の許容応力が ASME Code Case 2192 の値と対応しないため、伊藤副主査が調査して次回報告するとともに、新材料規格化分科会にも検討を依頼する

(4-1-3) 第 II 章本文 [資料 71-6-3]

俣野委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ 本文「2.3 ASME Code Case 材」の Supplement 発行 No. を変更
- ・ 許容引張応力表 II-4-1 は変更なし
- ・ 補遺「(4) 本規格 201X 年版改訂における許容応力の設定」は今後追記する
- ・ 引用している ASME 材および ASTM 材を見直した

(4-1-4) ボルト材の許容応力表

新任委員候補である森氏が次回報告することとした。

6. 次回開催予定

日 時: 2014 年 8 月 4 日(月) 13:30～17:00

場 所: 日本機械学会 第2会議室

7. 添付資料

添付1: 審議履歴表

以 上